

技術革新のときを語る

株式会社 片平エンジニアリング 藤波 晋



(熊本 阿蘇)

2003/5/24

1

1. 舗装への想い ～はじめに～

1-1 ハードルの 高さを競う
基準・要領

新技術 動機・思切れ
事例なし



(ニュージーランド)

1-2 白か黒か 論争聞いて
現場見る

試験屋は お天道様と
共にあり



(大分 杵築)

1-3 舗装業 米作りに似て
9万社



(北海道 北大)

1-4 好奇心に 自惚れ加え 道づくり
要領に 無いからやりたい 天邪鬼



(福岡 百道)

2. “道づくり”の舗装

2-1 パイプは AASHOと名神 破壊調査



(名神 舗装調査)

2-2 現場とは
フルスケールの
研究室



(東名 舗装追跡調査)

2-3 アスファルト処理
ローカル材でと
新試験



(アスペース材 曲げ試験)

2-4 トンネル内
下から上から
水が来る



(ニュージーランド)

2-5 新聞が 読めるようにと
プロフィールメーター



(阪神高速道路)

2-6 出来るはず 昔も今も 常温で



(カザフスタン)

2-7 ペネトレーション
マカダム舗装
息してる

REAAA 道路技術は
舗装技術



(タイ)

2-8 名神の 轍を踏んでの
クラック対策



(東名高速道路)

2-9 バブル期は 人手不足で RCCP



(岩手 八幡平)

2-10 コンボジット 喉元過ぎて 逆戻り



(カザフスタン)

3. “道まもり”の舗装

3-1 奥深さ 思い知らされ
路面見る

メーカーが
ユーザーになって
知る違い



(福島 夷磐梯)

3-2 轍掘れ 手錠がかかると 命がけ
過積載 コントロール出来ず 責重し



(北海道)

3-3 死亡事故
60パーセント 雨の中

10倍が 今4倍に
人助け

人の命 預かる技術
“道まもり”



3-4 **トレッドを
路面につくれ
新素材**

**特殊舗装
音の名前で
出ています**



(ブラジル)

3-5 **予想外 騒音対策 長寿命**



(東京湾アクアライン 木更津)

4. **“道づかい”の時代へ
~おわりに~**

4-1 **環境が スパイクタイヤ
追い出した**



(北海道 帯広)

4-2 **正常の 範囲は広い 道づかい
目に舗装 何も変わらず だから安心
促進と 抑制が同居する 道空間**



(マレーシア)

4-3 **良い評価
決め手はジョイント
協働で**



(中国自動車道 宝塚)

4-4 **橋トンネル すべて舗装を 作るため
100倍の 仕事の仕上げ 路面工**



(東京湾 アクアライン)

4-5 道づかい
舗装が主役
多機能に



(長野自動車道 岡谷高架)

4-6 新技術 理念 情念 執念と



(和歌山自動車道 紀ノ川SA)